



cherenkov
telescope
array

CTA報告108: 全体報告

窪 秀利 (京大理)
手嶋 政廣 (東大宇宙線研)
戸谷 友則 (東大理)
他CTA-Japan Consortium



CTA Consortium



32か国

>1200名



CTA-Japan 116名

- 青山大 大平豊, 木坂将大, 澤田真理, 柴田徹, 山崎了, 吉田篤正
- 茨城大 加賀谷美佳, 片桐秀明, 重中茜, DANG VIET TAN, 本橋大輔, 柳田昭平, 吉田龍生
- JAXA/ISAS 井上芳幸, 小山志勇, 李兆衡
- 大阪大 藤田裕
- 北里大 村石浩
- 京大基研 井岡邦仁
- 京大物理 窪秀利, 今野裕介, 齋藤隆之, 田中孝明, 谷川俊介, 鶴剛, 野崎誠也, 増田周
- 近畿大 千川道幸
- 熊本大 高橋慶太郎
- KEK素核研 郡和範, 田中真伸, 廣島渚
- 甲南大 猪目祐介, 岸田柊, 高見将太, 田中周太, 山本常夏
- 国立天文台 井上剛志
- 埼玉大 寺田幸功, 永吉勤, 西山楽
- 東海大 池野祐平, 木村颯一郎, 櫛田淳子, 辻本晋平, 西嶋恭司, 吉田麻佑

東大 宇宙線研

浅野勝晃, 石尾一馬, 稲田知大, 岩村由樹, 大石理子, 大岡秀行, 岡崎奈緒, 加藤翔, 黒田隼人, 榊直人, 櫻井駿介, 高橋光成, 手嶋政廣, 中嶋大輔, 野田浩司, 林田将明, 広谷幸一, 深見哲志, 村瀬孔大, 吉越貴紀, K.S.Cheng, Xiaohong Cui, Daniela Hadasch, David C.Y.Hui, Albert K.H. Kong, Pratik Majumdar, Daniel Mazin, Jumpei Takata, Thomas P. H. Tam, Wenwu Tian

東大天文 東大物理 東北大 徳島大 名大KMI 名大理

川中宣太, 戸谷友則
中山和則, 馬場彩
格和純, 當真賢二
折戸玲子
松本浩典
佐野栄俊, 立原研悟, 早川貴敬, 林克洋
福井康雄, 山本宏昭, 吉池智史

名大ISEE

朝野彰, 奥村暁, 佐藤雄太, 田島宏康, 中村裕樹, 日高直哉, 山根暢仁

広大理

高橋弘充, 深沢泰司

広大宇宙科学センター

田中康之, 水野恒史

宮崎大

森浩二

山形大

郡司修一, 武田淳希, 門叶冬樹, 中森健之

山梨学院大

内藤統也, 原敏

理研

井上進, 長瀧重博, Donald Warren, Maxim Barkov

立教大

内山泰伸

早稲田大

片岡淳

CTA Consortium全体会議@柏

NEWS 今年5月開催



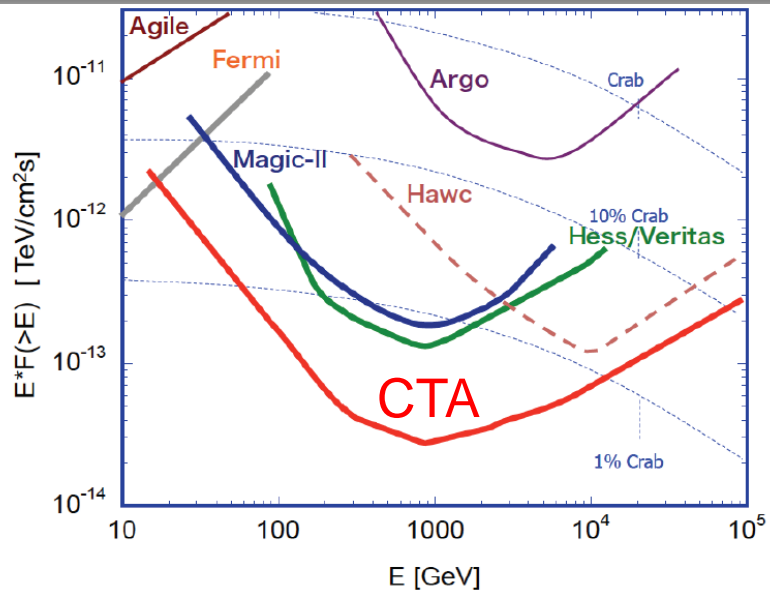
CTAで狙うサイエンス

Cherenkov Telescope Array (CTA)



従来の望遠鏡より

- ◆ 一桁高い感度
- ◆ 一桁広い帯域 (20 GeV-300 TeV)
- ◆ 角度分解能 3倍 (1分角)

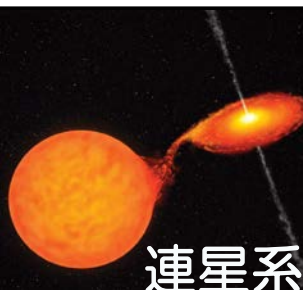


観測天体

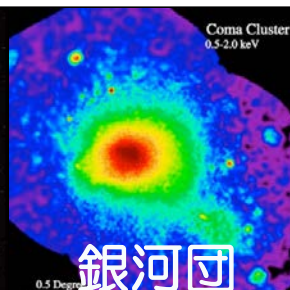
NASA/Fermi
Hester+

超新星残骸

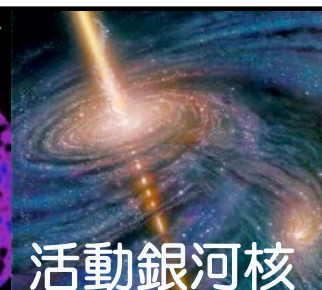
パルサー



連星系



銀河団



活動銀河核

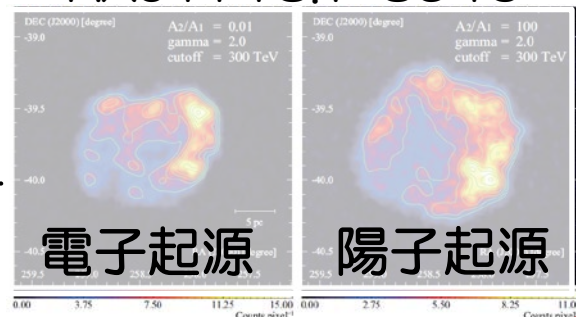


ガンマ線
バースト

- 宇宙線起源
- 巨大BH生成
- 赤外・可視背景放射
→ 宇宙の星形成史
- 暗黒物質対消滅 γ 線探索
- ローレンツ不変性検証

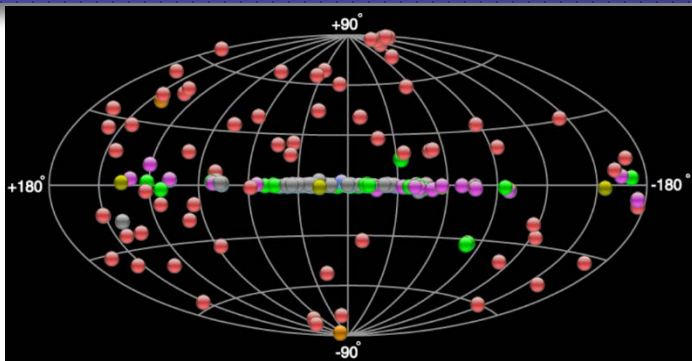
NEWS 日本主導による、
SNR観測シミュレーション
+論文作成、
CTAコンソーシアムとして
ApJに投稿(7月)

RXJ1713.7-3946



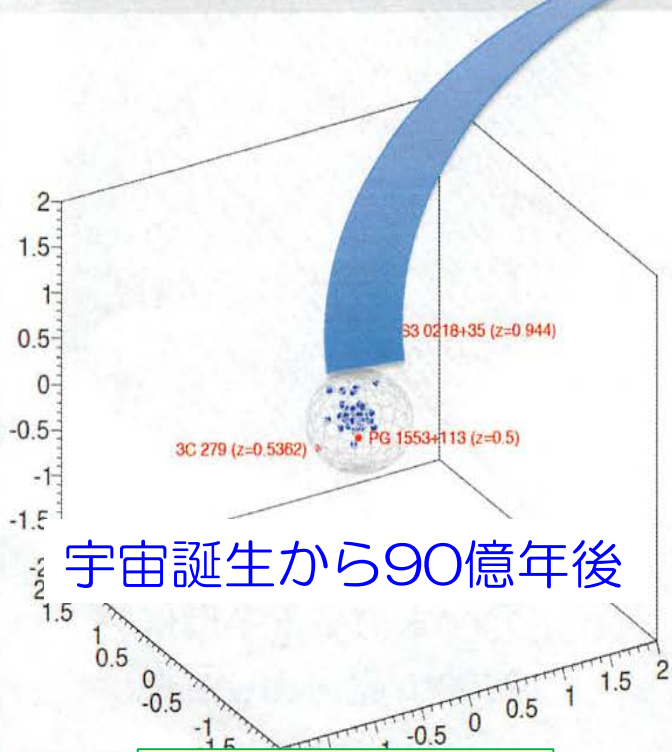
CTAで探る遠方宇宙 ($z \lesssim 4$)

TeVCatカタログ



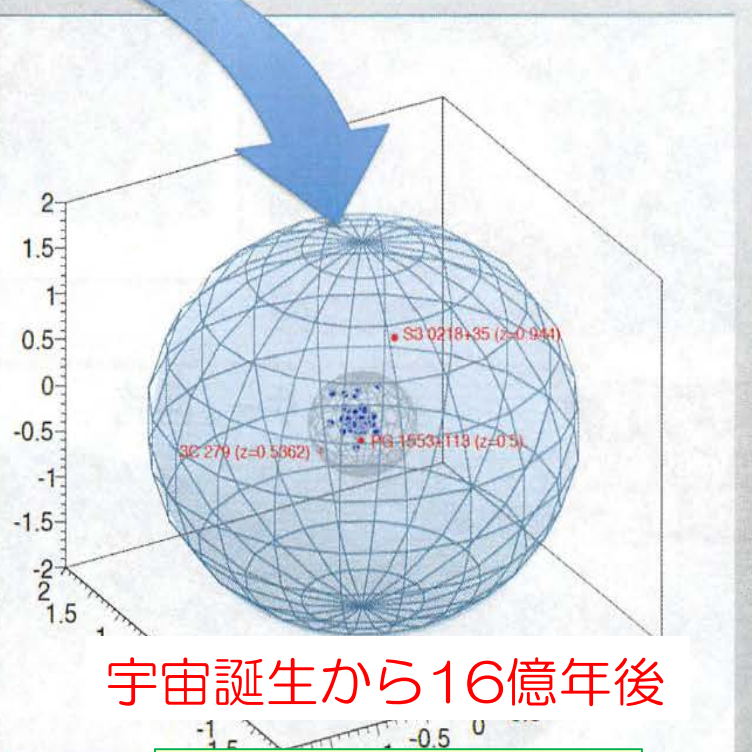
現在~170の天体が検出

>1000の天体が検出予想



宇宙誕生から90億年後

現在見える宇宙



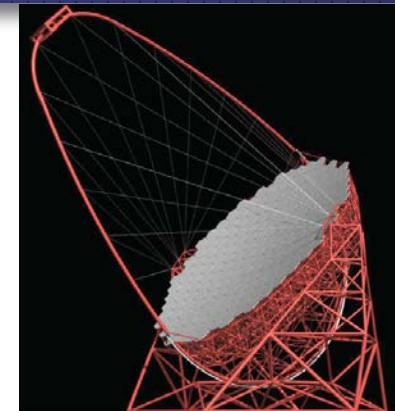
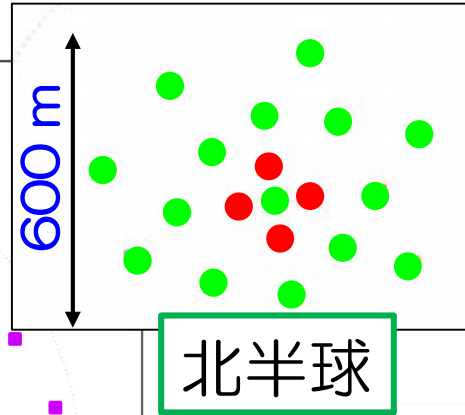
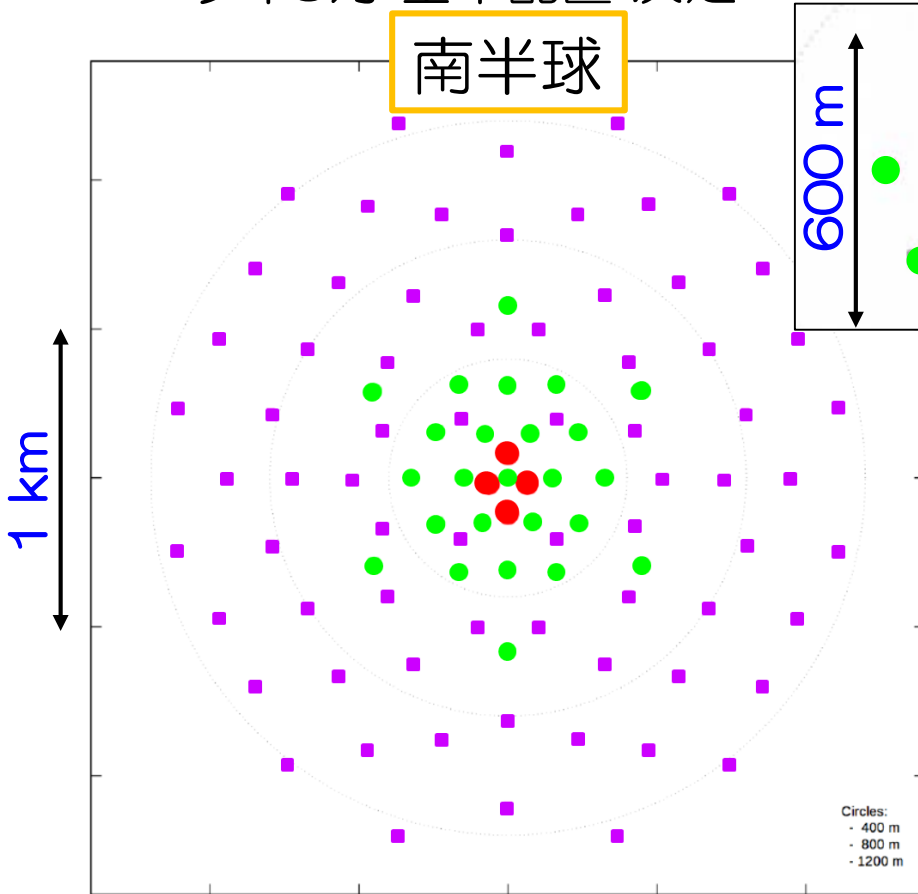
宇宙誕生から16億年後

CTAで見える宇宙

CTA計画

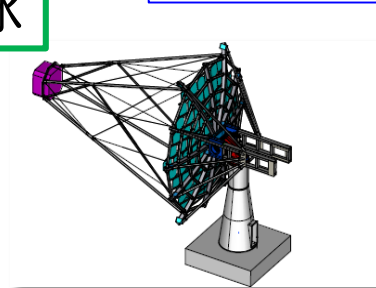
南半球と北半球の2ステーション⇒全天観測

NEWS 今年5月 基本配置 決定

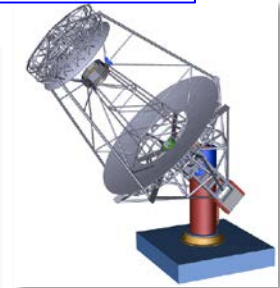


LST
口径
23m

20 GeV–1 TeV

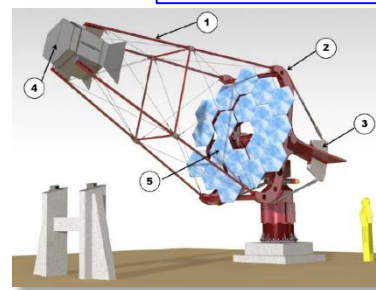


MST 12m

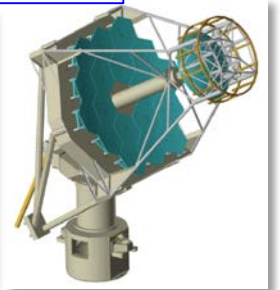


SCT 10m

0.1–10 TeV



SST ~4m



5–300 TeV

台数	サイト	LST	MST	SST	SCT
	南半球	4	25	70	オプション (25)
	北半球	4	15		

● フルアレイによる観測 2021年～ (公開天文台)

CTA建設サイト 昨年7月決定

北サイト



スペイン領
カナリア
諸島

google

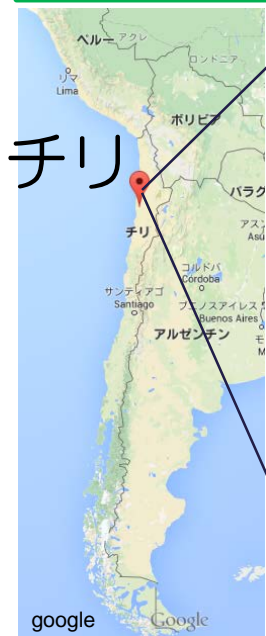


ラパルマ島



ロケ・ムチャチョス
天文台

南サイト



チリ

google

Google



VLT (8.2m×4)

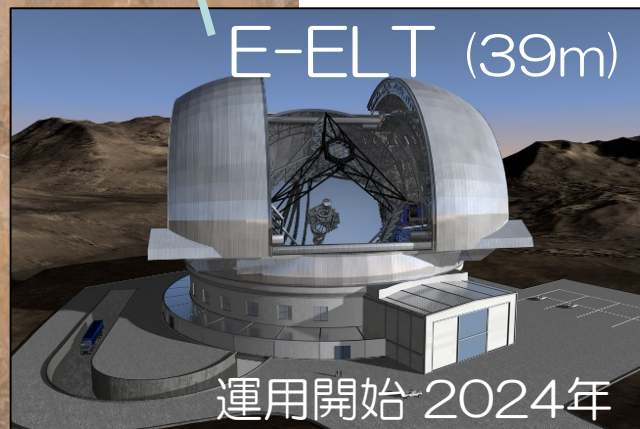
アタカマ砂漠



パラルナル天文台
(ESO)

CTA

セロ・
アルマゾネス山



E-ELT (39m)

運用開始 2024年

日本グループ ①LSTの鏡開発の中心的役割

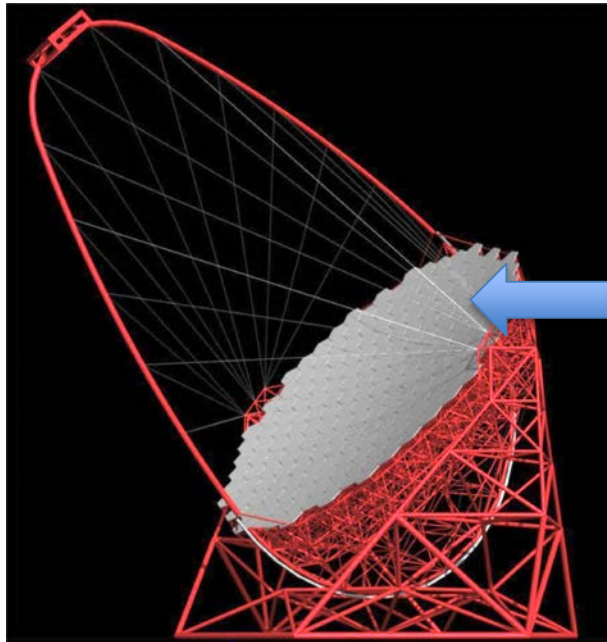
23m口径主鏡は198枚の1.5m分割鏡からなる

NEWS 100枚 製作完了
 +400枚 製作中(今年度内完了)
 +残りは来年度

ミラー諸元

- 面積 2m²
- 軽量化 47kg
- 高耐候性 >10年以上
- 高反射率 >90%
- 多層膜コート

性能評価、配置最適化
 ⇒[稲田22pSP-11](#)



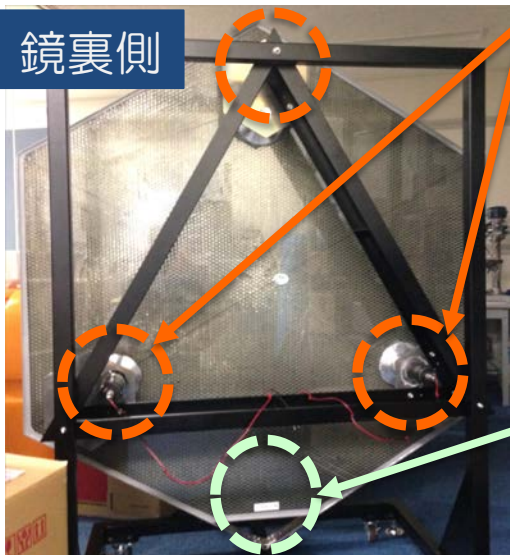
アクチュエーター 200台製作完了



ソフトウェア開発中
 ⇒[深見22pSP-10](#)

能動的ミラー制御

- 防水型 CMOS Camera で鏡方向を±5秒角で読み出す
- アクチュエーターにより、分割鏡の方向を±5秒角で制御し、主鏡のたわみを補正する



防水型CMOSカメラ

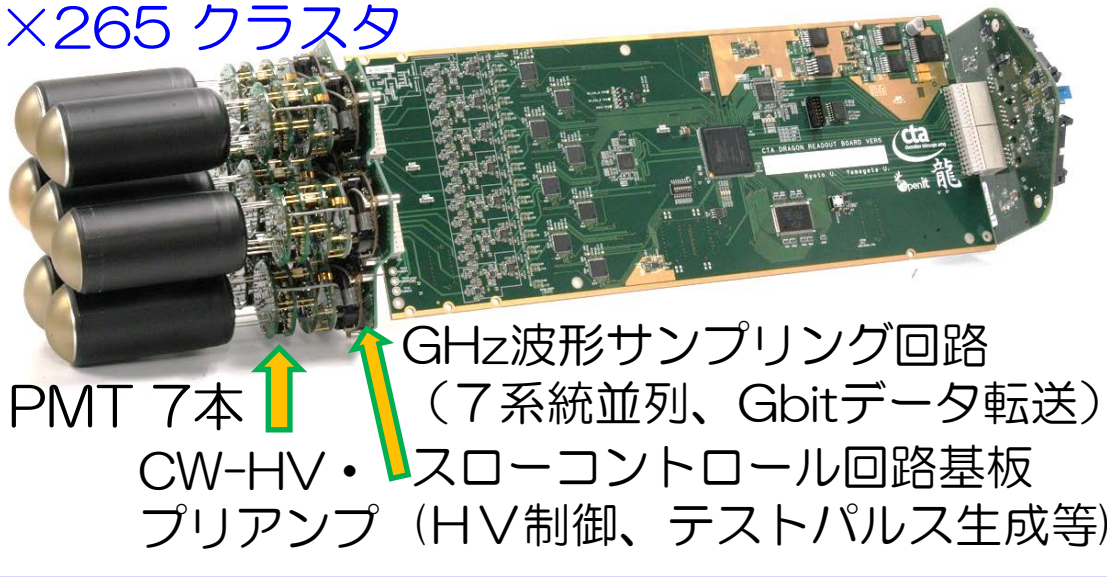


ソフトウェア開発中

日本 ②LST光センサ、読み出し回路開発を主導

LST(視野4.5度) 1台あたり、
1.5インチ径PMT 1855本

×265 クラスタ



PMT 7本

GHz波形サンプリング回路
(7系統並列、Gbitデータ転送)

CW-HV・スローコントロール回路基板
プリアンプ (HV制御、テストパルス生成等)

NEWS

PMTモジュール

- 1号機用(8段ダイノード)
2千台組立・較正完了
- 2-3号機用PMT(7段ダイノード)
4千本生産中 ⇒高橋22aSP-11

読み出し回路

- 1号機用300台, 日伊で製作完了
- 2号機以降用回路開発
⇒野崎22aSP-12

今年7月から

1号機筐体に取り付けて
動作試験@スペイン

東大宇宙線研に於いて、
1/14モデル
(19クラスタ133ピクセル)
単位で、全クラスタの
品質管理データ取得中

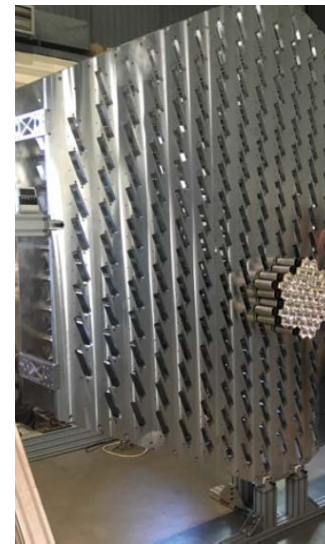
⇒野崎22aSP-12

集光装置の開発

⇒奥村22aSP-10



クラスタを
輸送



口径23m LST建設@北サイト(ラパルマ)に向けて



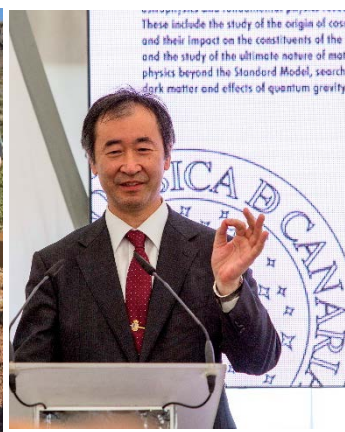
国際協力 10か国184名：

日本(53)、スペイン(35)、イタリア(35)、ドイツ(26)、フランス(17)、インド、ブラジル、クロアチア、スウェーデン、スイス



完成予想図

■ 昨年10月
LST 1号機着工記念式典@ラパルマ



■ **NEWS** 今年4月
スペインカナリア天体物理研究所(IAC)と
東大宇宙線研が、LST 4台の建設・運用に
関する協定締結



駐日スペイン大使館HP

情報 ニュース 日本スペイン交流400周年

ユース

スペインと日本の間でラ・パルマ島に4期
の新しい望遠鏡を設置することを合意

14/04/2016

カルメン・ベラ研究開発イノベーション長官は、日本の福岡勉文部科学副大臣と共に、ラ・パルマ島のロケ・デ・ロス・ムチャーチョス天文台に4基のチェレンコフ望遠鏡を設置・操作するための協定に合意する調印式に出席した。同式において、ラファエル・レボロカナリア天体物理研究所(IAC)所長と梶田 隆章東京大学宇宙線研究所長(ICRR)による署名・調印が行われた。4基のチェレンコフ望遠鏡は、直径23メートル

<http://www.icrr.u-tokyo.ac.jp/2015/10/13090903.html>

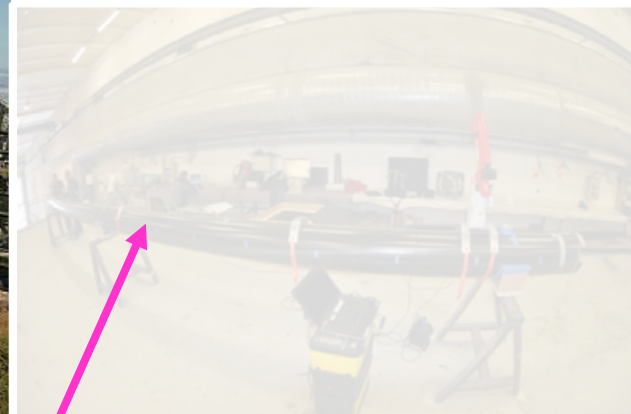
<http://www.ieec.cat/uncategorized/spain-and-japan-agree-on-the-installation-of-four-new-telescopes-on-the-island-of-la-palma-2/>

LST 1号機@ラパルマ島の建設

NEWS 今年7月から基礎工事 9月2日 MAGIC-II望遠鏡から撮影



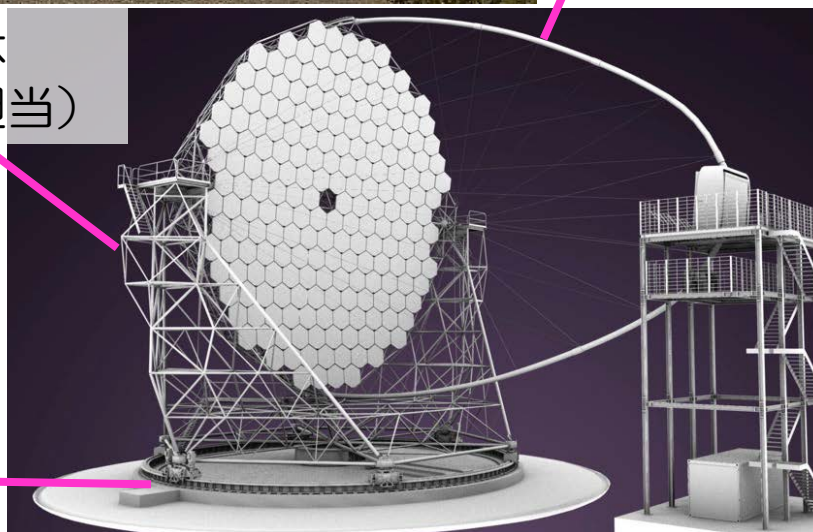
カメラ支持構造
(フランス・イタリア担当)



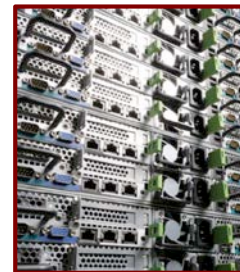
構造体
(ドイツ担当)



レールと
ボギー台車
(スペイン・
ドイツ担当)



- 計算機/
ネットワーク



- UPS
(日本担当)

LST 4台@ラパルマ島

完成予想図

東京大学宇宙線研究所
海外観測拠点

(2016-2018)
3機建設 概算要求

LST-1 (2016)
特別推進

LST-2

LST-4

LST-3

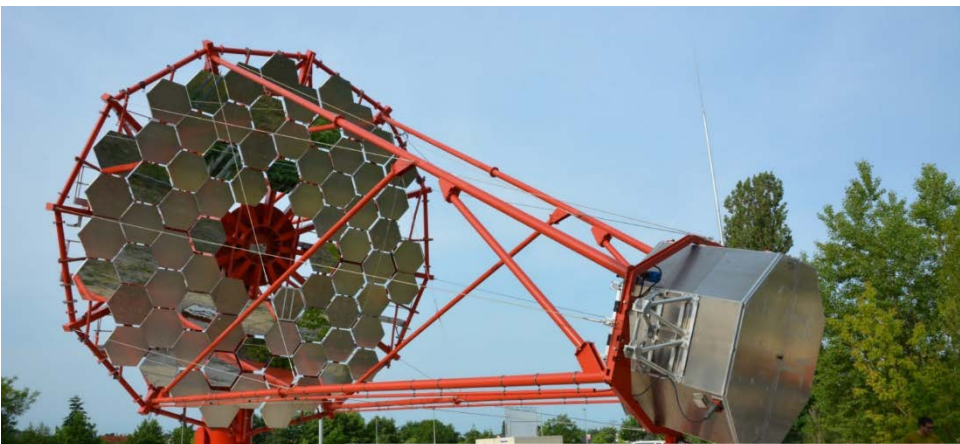
MAGIC-II

MAGIC-I

- 1号機 来年10月ファーストライト

中口径望遠鏡プロトタイプ

- Davies-Cotton型 (欧州) MST
口径12m



@ドイツ

カメラ
視野~8度
PMT~1800本

昨年7月
カメラ筐体取付け試験

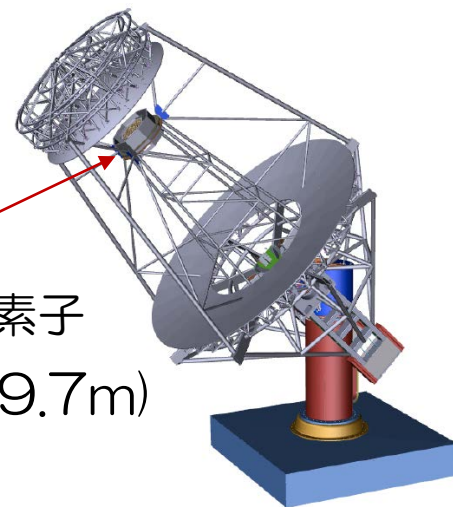


- Schwarzschild-Couder型 SCT
(US+名大+独)

副鏡 (D~5.4m)

SiPMカメラ
視野8度~1.1万素子

主鏡 (D~9.7m)



NEWS

VERITAS望遠鏡の近く 組上げ中



小口径(SST)プロトタイプー3タイプー

● Schwarzschild-Couder型(欧+米+豪+名大+茨城大)

① GCT 口径4.2+1.8m

@フランス 昨年12月 竣工式

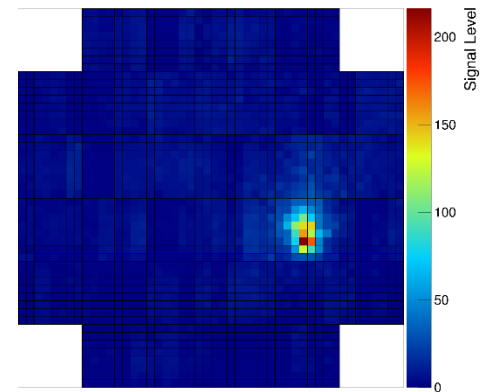


Credit: Akira Okumura

SiPMカメラ(2048ch)
視野 9.2度



昨年11月
ファーストライト



https://portal.cta-observatory.org/SiteAssets/Pages/News/GCTFirstLight_08122015.pdf

② ASTRI 口径4+2m

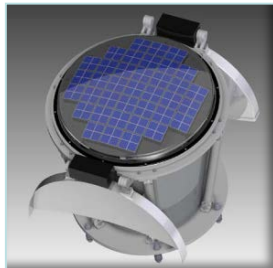
<http://www.asdc.asi.it/articles.php?id=98>



@イタリア
2014年9月 竣工

SiPM(2368 ch)

視野 9.6度



● Davies-Cotton型(欧)

2014年6月 竣工 SiPM (1296 ch) 視野9度

@ポーランド

口径 4 m



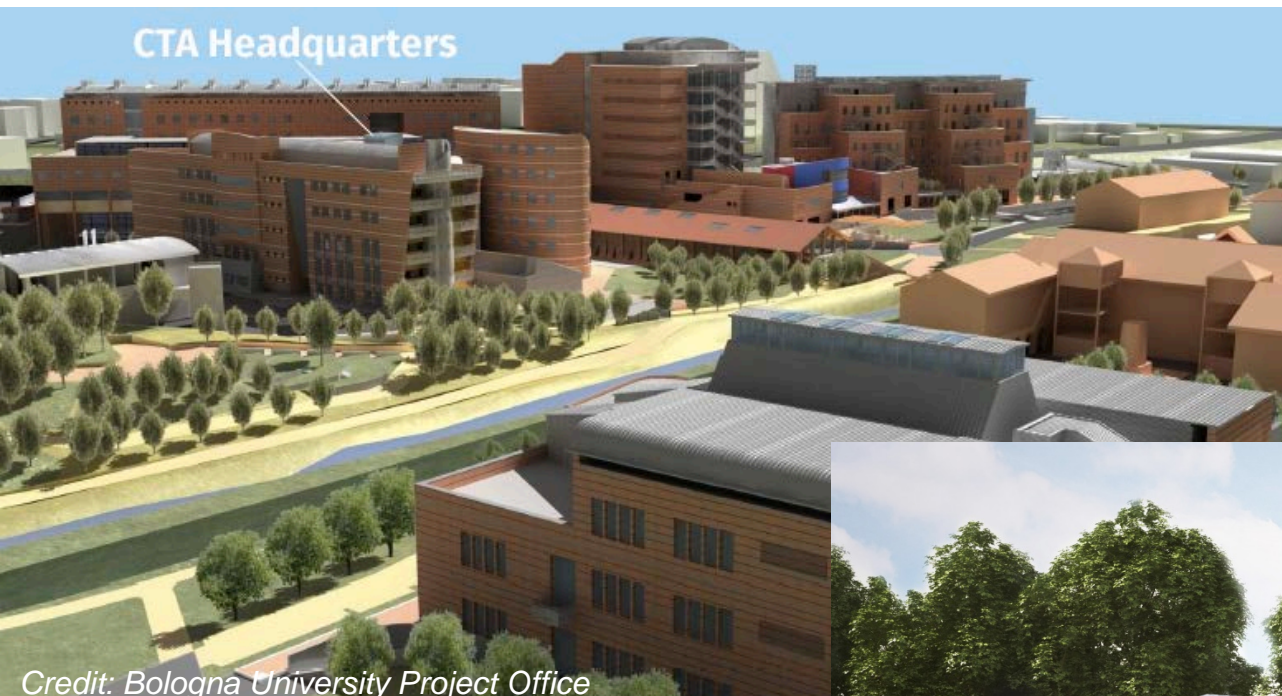
<http://naukawpolsce.pap.pl/fotogalerie/gallery,1304,teleskop-sst-1m--02062014.html>

CTA本部、科学データセンター



NEWS 今年6月 場所決定

https://portal.cta-observatory.org/SiteAssets/Pages/News/HQ_SDMC_14062016.pdf



CTA本部

イタリア
ボローニャ大学内

Credit: Bologna University Project Office

科学データ管理センター
100 PB 生成 (2030年までに)



ドイツ
ツォイテン (ベルリン郊外)
DESY内

Credit: Dahm Architekten & Ingenieure, Berlin

まとめ

➤ CTAで狙うサイエンス

- 従来の望遠鏡と比べ10倍の感度・エネルギー帯域を達成
- 宇宙線の起源、ブラックホールの物理、暗黒物質の探索など。
日本主導による、超新星残骸の観測シミュレーション論文作成・投稿。
- ガンマ線で見える地平線を $z \sim 4$ まで広げる(宇宙誕生から16億年後)

➤ CTAの建設

- [北]スペイン・ラパルマ島 + [南] チリ・パラナル
- 本部@イタリア、科学データセンター@ドイツの場所決定
- 日本グループは大口径望遠鏡LSTの建設を主導的に進めている
一主に主鏡、光センサー、読み出し回路の量産・品質管理
さらに中小口径Schwarzschild-Couder望遠鏡カメラ開発
- LST 1号機@ラパルマの基礎工事始まる。ファーストライト来年10月予定。
- スペインIAC研究所と東大宇宙線研が、LST 4台の建設・運用の協定締結

